

人は、もがきながら生きている

住宅顕信

空前の俳句ブームのいま、その俳句と人生をみつめる

岡山に生まれ 25歳という若さでこの世を去った俳人・住宅顕信(すみたく・けんしん)。

5・7・5の字数にとらわれない自由律俳句を詠み、生涯に残した俳句はわずか 281 句。22歳の時に得度し浄土真宗本願寺派の僧侶となった。空前の俳句ブームと言われる現在、その死後に日常をテーマとした俳句と生き様が脚光を浴びている。

その俳句と共にいた稀有な人生を、生きづらさを感じながら生きる現代の中学生と重ね合わせて描いた『ずぶぬれて犬ころ』。

ドキュメンタリー映画『船、山にのぼる』『モバイルハウスのつくりかた』の本田孝義監督が初の劇映画に挑む。同郷の住宅の俳句と人生から「生ころ」というメッセージを感じ、オール岡山ロケと地元の熱い協力で本作を完成させた。

主演は『おんなのこきらい』『21世紀の女の子』で注目される木口健太。住宅を演じるために髪を短く切り、鬼気迫る演技で新境地を開いた。住宅の俳句に励まされる中学生・小堀を演じるのは岡山出身の新鋭、森安奏太。オーディションで見出された、繊細ながら力強い眼差しが印象深い。また『アウトレイジ 最終章』など数多くの作品で個性的な役を演じる仁科貴や、特別出演の田中美里ほか、実力派ぞろいが短くも強烈なひとりの人生を彩る。

撮影は『人のセックスを笑う』『ニシユキヒコの恋と冒険』の鈴木昭彦。息の長いカットが過去と現在を鮮やかに繋いでいる。音楽は「あらかじめ決められた恋人たちへ」のリーダーで、近年は『モヒカン故郷に帰る』『武曲 MUKOKU』、ドラマ『宮本か



あけつばなした窓が青空だ
父と子であり淋しい星を見ている
住宅顕信



ら君へ』など数多くの映画やドラマを手がける池永正二。音数の少ない旋律が強い印象を残す。

人はどのように生き、そして去っていくのか。どの時代にも通づる普遍的なテーマが貫かれる。

ひとつの句が過去と現在を繋ぎ、人生を動かし、変えていく

2017年、小堀明彦は中学校でいじめにあっていた。教頭の諸岡は、掃除用具に閉じ込められていた明彦を見つける。教室に落ちていた張り紙「予定は決定ではなく未定である」を書いたのは、住宅春美という、かつて諸岡が関わった生徒だったことを語り始める。

1980年前後、住宅春美が働いていた食堂で彼女を紹介されたこと、商店街で再会したこと、春美が得度し「顕信」という法名になり「無量寿庵」という仏間を作ったこと。そして25歳の若さで亡くなったこと。

小堀は、諸岡から借りた住宅顕信の句集「未完成」を読み始め、その俳句と住宅顕信の生涯に徐々にのめり込んでいく。1984年、22歳の住宅顕信は急性骨髄性白血病を発症。家族の献身的な介護に支えられながら、句作に没頭していく。しかし病状が悪化し句集「未完成」の原稿を握り締めながら1987年、25歳の若さで亡くなるのだった。小堀は住宅の句と生き方に感銘を受け少しずつ変わっていく……。

住宅顕信 すみたく・けんしん

1961年岡山県岡山市生まれ。
19歳頃から、自由律俳句(5・7・5の字数にとらわれない俳句)と宗教に興味を持つ。

22歳の時に京都西本願寺で得度、浄土真宗本願寺派の僧侶となり、法名を顕信とする。この年、自宅に無量寿庵という仏間を作る。同年、1歳年下の女性と結婚。しかし、1984年23歳の時に、急性骨髄性白血病を発症し、入院。入院中に長男・春樹が誕生するが離婚し、以後、病室で育児を行う。入院中、俳句作りに没頭。しかし回復には至らず、1987年2月7日没。生前残した俳句は281句。死後、その俳句と短い人生が注目を集め、句集が大きな話題となる。

ずぶぬれて犬ころ

監督・プロデューサー | 本田孝義

制作 | 竹井政章 血井淳介 制作事務局 | 長尾直樹

原作 | 横田賢一「生きたいそぎの俳人 住宅顕信——25歳の終止符」(七つ森書館刊)

脚本 | 山口文子 撮影 | 鈴木昭彦 録音・整音 | 高島知哉 美術 | 小林大記 田淵英明 編集 | 松尾太加志

音楽 | 池永正二 テーマ曲 | 「blast」あらかじめ決められた恋人たちへ

キャスティング | 東敬一 衣装 | 井上瑞穂 ヘアメイク | 難波由華 製作 | ケンシン・プロジェクト 戸山創作所

出演 | 木口健太

森安奏太 仁科貴 八木景子 原田夏帆

脇田敏博 坂城君 柳田幸則 渡辺厚人 金本保孝 大岩主弥 宇田由美子 村上遥 寺角恵美 俣野信和 三村晃庸

藤田京子 中嶋裕 網永成利 高橋和美 田中美実枝 講崎香月 笹倉史子 木村隆信 井川翔太 鈴木颯 古山琥晶

田中美里(特別出演)

2018年/日本/DCP/100分
宣伝=スリーピン 配給=バンドラ www.zubuinu.com

6.1(土)~“心洗われる”ロードショー!!

【特別鑑賞券 1400円】絶賛発売中!! (当日:一般 1800円、学生 1400円のところ)

ユーロスペース

EUROSPACE

渋谷・Bunkamura 前交差点左折

tel 03-3461-0211

www.eurospace.co.jp

5.17(金)~23(木)

特別先行上映

岡山

シネマ・クレール丸の内

tel 086-231-0019